

# グリーンゾーンについて

## 一般質問



別府 直 議員  
(自民の風・誠真会)

いては、予定の延長6,270メートルに対し3,550メートルが完了済みとなっています。

**問** 通学路の安全対策として路肩をグリーンに着色した歩行帯は、現在どの程度整備できているのか。

**答** グリーンゾーンは車両ドライバーへ通学路の通行を視覚的に認識させ、安全運転を促す目的で実施するものです。

市土木課による工事施工状況は、11月末現在で延長約5,560メートルの整備が完了しており、合同点検が必要であると判断された箇所についてほぼ完了しています。また、加東土木事務所による施工部分につ

**問** グリーンゾーンによって近くに学校があることが明らかとなるのは非常に有意義だが、道路交通法上の通行区分と照合した場合、例えば片方だけのグリーンゾーンでは一体どちらを歩いて歩けばいいのか、小学生以外の通学者はどうするのか、小学生にしても登下校以外にどちらを通るのかなど、ルールがわかりにくいという声もある。これらの点について、警察や教育関係者、あるいは行政機関が一堂に協議する必要があると思うが、どのように対応されているか。また、そこで決定した方針について、1月の初参会を利用して周知してはどうか。

**答** カラー舗装区間の通行については、市内11小学校区の児

童に安全指導の周知徹底、また、保護者へも文書等にてご理解をいただいています。

加西警察署に確認したところ、道路交通法ではより安全な空間の通行が基本となっており、小学生のみならず中学生、高校生、一般の方についても、また、登下校以外においてもカラー舗装された路肩部を通行するよう指導しているとのこと。

また、実情調査の上で認識を再確認するため、各関係機関と早急に合同会議を実施予定です。そのため初参会後となりますが、代表区長様を通じて、また、ホームページにおいて早急に周知徹底に努めたいと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・太陽光発電について
- ・人口問題について

# 天下溝の今後のあり方について

## 一般質問



織部 徹 議員  
(21政会)

馬渡谷町にとって大変な負担となっている。そこで数年前に加西市から出された通知は、どのような内容だったのか。また、通知について該当町は納得されているのか。

**問** 享保年間1720年代に開かれた青野原新田、現加東市高岡町への主水源として、間接流域から注水する了徳寺池と、普光寺川から取水する等の天下溝がある。天下溝とは幕府が工事を行った天下御免の溝という意味である。

平成10年3月に高岡町から馬渡谷町等へ、天下溝の水利権を放棄すると一方的に通告があり、維持管理をしなくなった。馬渡谷町等は通告に同意していないが、平成10年の集中豪雨で馬渡谷町内の堤防が決壊し、放置できず堤防を復旧させて以降、溝さらいを行い管理している。これは受益者でない

**答** 高岡地区が水利権を放棄したことから、関係4町と加西市、当時の滝野町、高岡地区と協議を重ね、県営事業として平成18年度から4年間に1億4,100万円をかけ整備をしています。追加改修や加西市による維持管理の要望があり、県と市で対応策について協議した後、回答文書を市長名で出しました。その内容は、改修区間等の計画変更は無理であること、未改修区間について別途事業等に対応できるか検討すること、天下溝を該当町も利用しており維持管理をお願いすること、そして今後は応分の費用負担をいただくというものです

4町のうち1町は町内水路の経

路・形状の不安や維持管理の問題が大きく、通知内容の得心には至っていないところ。

**問** 実際に水路があるため使ってはいるが、なければ自分たちで何とかするという。誰が管理するかという大きな課題と溝だけが遺物として残り、これは10年、20年後も変わらない。関係機関等と相談し、何とか調整していただきたい。

**答** 町や市をまたがる歴史ある水路でもあり、修繕も含めた維持管理については、広域で協議し統一した見解を持っていただく必要があります。行政も当然協力させていただく考えです。

### ■その他の質問項目

- ・教育長の教育方針について
- ・水道水の値下げについて